

議案第7号

教育委員会の 点検・評価報告書

平成26年4月
茂原市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	3
	(1) 趣旨	3
	(2) 目的	3
	(3) 対象	3
	(4) 点検・評価の流れ	3
2	教育委員会の活動状況	4
	(1) 教育委員（平成 26 年 4 月 1 日現在）	4
	(2) 教育委員会会議	4
	(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	8
3	各種施策について	9
	(1) 後期基本計画に基づく施策表	9
	(2) 茂原市の教育方針及び重点施策	10
4	各施策の点検評価報告書	15
	1-1 生涯学習の推進	15
	1-2 学習機会の充実	16
	1-3 支援システムの整備	17
	2-1 幼児教育の充実	18
	3-1 教育環境の整備	19
	3-2 通学環境の改善	20
	3-3 教育内容の充実	21
	3-4 障害児教育の充実	23
	3-5 教職員の資質の向上	24
	3-6 学校給食の充実	25

4-1	社会教育施設の整備	26
4-2	社会教育の振興	27
5-1	スポーツ環境の充実	28
5-2	スポーツ・レクリエーションの振興	29
6-1	文化環境の整備	30
6-2	芸術文化の振興	31
6-3	伝統・文化の維持継承	32
7-1	青少年健全育成の充実	33

1 点検・評価の趣旨等

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成20年4月1日施行）により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。茂原市教育委員会では、この規定に基づき点検・評価を実施します。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同上第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

(2) 目的

教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行うことで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的とします。

(3) 対象

本市の「後期基本計画」並びに教育の総合的指針である「平成25年度茂原市の教育方針及び重点施策」に位置づけている18施策を対象とし、点検・評価を実施いたしました。それぞれの施策の課題等を明らかにするとともに、今後の方向性について示しました。

(4) 点検・評価の流れ

- ①事業担当課での報告書の作成
- ②教育委員会による点検・評価
- ③改善への取組
- ④議会への報告
- ⑤ホームページによる市民への公表

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（平成26年4月1日現在）

役職名	氏名	任期
委員長	足立俊夫	平成23.6.30～平成27.6.29 (委員長として平成25.12.17～平成26.12.16)
委員長 職務代理者	鎌田俊郎	平成24.10.1～平成28.9.30 (職務代理者として平成25.12.17～平成26.12.16)
委員	鈴木一代	平成25.7.1～平成29.6.30
委員	齋藤 晟	平成22.10.1～平成26.9.30
教育長	古谷一雄	平成24.6.30～平成28.6.29

(2) 教育委員会会議

教育委員会会議は定例会12回と臨時会3回の合計15回開催しました。また、教育委員会と教員との相互理解を深めるため、新任の学校教諭、新教頭、新校長を対象に教育委員会会議の傍聴、会議終了後の意見交換等も行っています。

①開催回数（平成25年1月～12月）

	定例会	臨時会	計
回数	12	3	15

②議決事項等（平成25年1月～12月）

	開催日	議案番号	議案名
1月定例会	1月31日	議案第1号	平成24年度地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく教育委員会の点検・評価について (報告事項:6件)
2月定例会	2月18日	議案なし	(報告事項:4件)

	開催日	議案番号	議 案 名
3月臨時会	3月12日	議案第1号	<p>県費負担教職員のうち校長及び教頭の任免その他の進退に関する内申について</p> <p>(報告事項:4件)</p>
3月定例会	3月28日	<p>議案第1号</p> <p>議案第2号</p> <p>議案第3号</p> <p>議案第4号</p> <p>議案第5号</p>	<p>県費負担教職員のうち校長及び教頭の任免その他の進退に関する内申について</p> <p>平成25年度茂原市の教育方針及び重点施策について</p> <p>茂原市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>茂原市教育委員会感謝状被贈呈者の決定について</p> <p>茂原市スポーツ推進審議会委員の任命について</p> <p>(報告事項:3件)</p>
4月定例会	4月25日	<p>議案第1号</p> <p>議案第2号</p> <p>議案第3号</p> <p>議案第4号</p> <p>議案第5号</p> <p>議案第6号</p> <p>議案第7号</p>	<p>学校評議員の委嘱について</p> <p>茂原市社会教育委員の委嘱について</p> <p>茂原市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について</p> <p>茂原市立図書館協議会委員の任命について</p> <p>茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について</p> <p>茂原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>(報告事項:4件)</p>
5月定例会	5月23日	<p>議案第1号</p> <p>議案第2号</p>	<p>職員の懲戒処分について</p> <p>茂原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>(報告事項:4件)</p>

	開催日	議案番号	議 案 名
6月定例会	6月27日	議案第1号	茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について (報告事項:5件)
7月定例会	7月18日	議案第1号 議案第2号	平成26年度 使用教科用図書の採択について 茂原市教育委員会感謝状被贈呈者の決定について (報告事項:6件) (新任教諭5名傍聴)
8月定例会	8月22日	議案第1号 議案第2号	茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について 茂原市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について (報告事項:3件) (新任教諭5名傍聴)
9月定例会	9月26日	議案第1号	平成25年度茂原市教育功労被表彰者の決定について (報告事項:3件) (新任2名、栄養士3名傍聴)
10月臨時会	10月22日	議案1号	図書館の移転及び運営について
10月定例会	10月31日	議案なし	(報告事項:4件) (新任教諭6名傍聴)

	開催日	議案番号	議 案 名
11月定例会	11月14日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	<p>茂原市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて</p> <p>茂原市立図書館設置条例の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて</p> <p>茂原市茂原駅前学習プラザの設置及び管理に関する条例を廃止する条例を制定するよう市長に申し入れることについて</p> <p>茂原市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて</p> <p>茂原市教育委員会感謝状被贈呈者の決定について</p> <p>(報告事項:4件、決定事項:2件) (新教頭5名傍聴)</p>
12月臨時会	12月18日	議案第1号	職員の懲戒処分等について
12月定例会	12月26日	議案第1号 議案第2号 議案第3号	<p>茂原市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>茂原市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>茂原市教育委員会感謝状贈呈者の決定について</p> <p>(報告事項:7件) (新校長5名傍聴)</p>

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

教育委員は、教育委員会会議への出席の他に学校を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、議案や教育課題などに対する理解を深め、多面的な角度から議論を行うため教科書採択会議や県等が主催する研修会や総会などにも参加しました。

・入学式・卒業式

開催日	訪問先
平成 25 年 4 月 8 日	東中学校・富士見中学校・茂原中学校・本納中学校・早野中学校
平成 25 年 4 月 9 日	二宮小学校・萩原小学校・新治小学校・豊岡小学校・東部小学校
平成 25 年 4 月 10 日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園・中の島幼稚園
平成 26 年 3 月 11 日	東中学校・富士見中学校・茂原中学校・南中学校・本納中学校
平成 26 年 3 月 17 日	豊田小学校・茂原小学校・鶴枝小学校・豊岡小学校
平成 26 年 3 月 18 日	西小学校・五郷小学校・萩原小学校・中の島小学校・緑ヶ丘小学校
平成 25 年 3 月 19 日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園・中の島幼稚園

・学校訪問・文化財視察

開催日	訪問先
平成 25 年 5 月 15 日	東郷小学校・西小学校・鶴枝小学校・新治小学校 東部小学校・新茂原幼稚園
平成 25 年 5 月 16 日	豊田小学校・豊岡小学校・本納中学校・豊岡幼稚園、 文化財視察（蓮福寺大公孫樹・釈迦三尊図ほか、本納城址）

・教科書採択関係

開催日	内容
平成 25 年 5 月 17 日	第 1 回教科書採択協議会
平成 25 年 7 月 4 日	第 2 回教科書採択協議会

・研修会等

開催日	内容
平成 25 年 4 月 24 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会総会
平成 25 年 5 月 17 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演会
平成 25 年 7 月 10 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第 2 回幹事会
平成 25 年 9 月 25 日	千葉県教育委員会・千葉県市町村教育委員会連絡協議会共催 第 1 回教育委員研修会
平成 25 年 10 月 10 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会要望書提出
平成 25 年 11 月 6 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会視察・研修会
平成 26 年 1 月 10 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会
平成 26 年 1 月 29 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第 2 回教育委員研修会

3 各種施策について

(1) 後期基本計画に基づく施策表

点検・評価は、「後期基本計画」に基づく以下の18施策について実施しています。

章	節	項	細項目	担当課
教育文化（次代を担う子どもたちを育て、すべての人が生涯を通し学習していくまち）	1 生涯学習	1-1 生涯学習の推進	推進体制の確立	生涯学習課
			関連機関との連携	生涯学習課
		1-2 学習機会の充実	学習ニーズに応じた学習機会の充実	生涯学習課
	1-3 生涯学習支援システムの整備	情報提供・相談体制の整備	生涯学習課	
		施設・設備の整備・充実	生涯学習課	
		読書活動の推進	生涯学習課	
		幼稚園の整備	教育総務課	
	2 幼児教育	2-1 幼児期教育の充実	教育内容の充実	学校教育課
			施設の整備	教育総務課
	3 学校教育	3-1 教育環境の整備	設備・備品の充実	学校教育課
			適正な通学区域の設定	学校教育課
		3-2 通学環境の改善	学習指導、生徒指導の充実	学校教育課
			個性に応じた指導の充実	学校教育課
			社会環境の変化に対応した教育の充実	学校教育課
			健康教育の充実	学校教育課
			安全教育の充実	学校教育課
			確かな学力の育成	学校教育課
		3-3 教育内容の充実	教育体制の充実	学校教育課
		3-4 特別支援教育の充実	研修の充実	学校教育課
	3-5 教職員の資質の向上	調理場方式の検討	学校教育課	
	3-6 学校給食の充実	効果的な食育の推進	学校教育課	
	4 社会教育	4-1 社会教育施設の整備	公民館の整備	生涯学習課、中央公民館
			図書館の整備	生涯学習課、図書館
		4-2 社会教育の振興	学習機会の拡充	生涯学習課
			団体の育成	生涯学習課
	5 スポーツ・レクリエーション	5-1 スポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備	体育課
			スポーツ施設のネットワーク化	体育課
5-2 スポーツ・レクリエーションの振興		市民スポーツの充実	体育課	
		スポーツ団体の育成	体育課	
		指導者の育成	体育課	
		体育指導委員活動の推進	体育課	
6-1 文化環境の整備	文化施設の整備	生涯学習課、中央公民館、美術館・郷土資料館		
6-2 芸術文化の振興	身近な活動の場の確保	生涯学習課、美術館・郷土資料館		
	芸術文化事業の充実	生涯学習課、美術館・郷土資料館		
6-3 伝統・文化の維持継承	文化団体・グループの育成	生涯学習課、美術館・郷土資料館		
	文化財の保護・保存	生涯学習課		
	歴史民俗資料の収集	生涯学習課		
7 青少年健全育成	7-1 青少年健全育成の充実	伝統芸能の保存と育成	生涯学習課	
		青少年育成体制の充実	生涯学習課	
		青少年育成事業の充実	生涯学習課	
		環境浄化と非行防止	生涯学習課	

(2) 茂原市の教育方針及び重点施策

本市では後期基本計画に基づく、教育の総合的指針として、毎年度「茂原市の教育方針及び重点施策」を定めています。平成25年度の茂原市の教育方針及び重点施策は以下のとおりです。

平成25年度茂原市の教育方針及び重点施策

本市では、『ゆたかな暮らしをはぐくむ「自立拠点都市」もばら』を将来都市像とし、平成23年から32年までを計画期間とする後期基本計画を策定しています。

茂原市教育委員会では、後期基本計画に基づき、「次代を担う子どもたちを育て、すべての人が生涯を通し学習していくまち」を基本テーマとして各種施策の展開を図ってまいります。

特に、国際化や少子高齢化及び高度情報化の進展、また地方分権が進むなか、教育に対する期待も益々大きくなってきています。そこで教育委員会は、「人づくり」を中心的課題として捉え「茂原の文化を創る心豊かな人づくり」を目標に、平成25年度茂原市の教育方針及び重点施策を次のように定めます。

なお、施策の推進に当たっては、関係機関をはじめ関係団体等との連携を密にするとともに、家庭、学校、地域社会が一丸となり、広く市民の協力を得ながら、教育の充実と文化の向上に努めます。

第1節 生涯学習

来るべき新しい時代に生きる市民が、自らの意志で様々な学習活動に取り組むことを通じて人間を磨き、生きがいをはぐくみ、豊かな人間関係を醸成しながら活力に満ち、充実した生活の実現を目指します。そのため、「楽しく学び、いきいきとふれあう、活力あふれる市民生活の創造」を基本理念に、行政と市民が一体となって、心の豊かさを実感できる生涯学習を推進します。

1 生涯学習の推進

- (1) 第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用することで、全庁的な推進体制の充実を図ります。
- (2) 生涯学習関連施設、国・自治体や文化・スポーツ施設など、関連機関や団体等と密接な連携を図り、市民の学習要求に対応できるよう協力体制を整備します。

2 学習機会の充実

- (1) 市民カレッジや大学の公開講座を開催し、市民ニーズに対応した学習機会の提供に努めます。
- (2) 市民の要望に応じて、市職員が講師となり、市民生活に必要な知識や情報を提供する職員出前講座の普及を図ります。

3 生涯学習支援システムの整備

- (1) 生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ガイドブック、広報もばらにより

生涯学習に関する情報提供に努めます。

- (2) 生涯学習を担う指導者の確保と周知に努めます。
- (3) 公民館をはじめ各学習施設は、学習情報の提供や学習相談、学習事業を研究開発するなど、総合的に学習者を支援できる推進機能の充実を図ります。
- (4) 学社融合の一層の推進に努めます。
- (5) 子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな感性・情緒を育む読書活動を推進します。

第2節 幼児期教育

豊かな感性と思いやりの心を育み身体の健やかな成長を図るため、幼児の体験的な遊びや活動を重視した保育の充実に努めるとともに、一人一人の発達に応じた幼児期教育の推進に努めます。また、少子化社会への対応を進める観点から幼稚園機能を生かした子育て支援事業を行い、多様化する保護者や地域のニーズに応えるよう努めます。さらに、私立幼稚園に対する助成を実施し、公私立のバランスのとれた幼児期教育の振興を図ります。

1 幼児期教育の充実

- (1) 幼稚園等の施設・遊具の改善、修繕など、適切な維持管理に努めます。
- (2) 基礎的な資質や能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努めます。
- (3) 職員の資質向上とチーム保育の推進に努めます。
- (4) 子育て支援事業を実施し、地域に開かれた幼稚園づくりの推進に努めます。
- (5) 幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努めます。
- (6) 環境の整備を図り、健康と安全教育の推進に努めます。
- (7) 教材備品の充実に努めます。
- (8) 私立幼稚園の保護者負担の軽減に努めます。

第3節 学校教育

子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用する学習活動を充実させることにより、思考力・判断力・表現力を育み、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる「生きる力」を育てる教育を推進します。

また、学校と地域との連携を強めながら地域に開かれた学校づくりを一層推進し、様々な学校活動に地域の協力と意見が反映できるよう、学校評議員制度や学校支援ボランティア制度の充実を図ります。地域全体で子どもたちの健全な成長を担う環境づくりを推進します。

1 教育環境の整備

- (1) 校舎・体育館等の耐震補強を計画的に実施するとともに、学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図ります。
- (2) 教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、児童生徒・利用者の安全確

保に努めます。

(3) 教材備品の充実に努めます。

(4) 小中学校等の遊具の改善や修繕など、適切な維持管理に努めます。

2 通学環境の改善

(1) 通学路の安全点検に努めます。

3 教育内容の充実

(1) 特色ある学校経営と創意ある教育課程の編成に努めます。

(2) 高度情報化、国際化など社会の変化に対応した教育の推進に努めます。

(3) 地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりに努めます。

(4) 道徳教育及び生徒指導の充実と教育相談体制の確立に努めます。

(5) 望ましい勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育の推進に努めます。

(6) 本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実に努めます。

(7) 各教科及び総合的な学習の時間や特別活動において、多様な体験活動の推進に努めます。

(8) 健康・安全教育の推進に努めます。

(9) 防災教育の充実に努めます。

(10) 奨学資金貸付制度の適正な運用に努めます。

4 特別支援教育の充実

(1) 特別支援教育の推進と適切な就学指導の充実に努めます。

5 教職員の資質の向上

(1) 教職員の資質向上を図り学習指導の充実に努めます。

6 学校給食の充実

(1) 学校給食の充実及び食育の推進に努めます。

第4節 社会教育

身近な生涯学習の場である公民館等の社会教育施設において利用者の立場に立った施設運営や整備に努め、地域における学習・交流の拠点として、活力と潤いのある社会教育を推進します。また、多様化する市民の学習ニーズに応えるため図書館施設の整備や図書館のあり方についての検討を図ります。社会教育関係団体については、育成・活動を支援し、指導者の発掘および育成を推進します。

1 社会教育施設の整備

(1) 社会教育施設の整備を図り、設備等の充実に努めます。

2 社会教育の振興

(1) 多様化・高度化する学習ニーズに応じるため、学習機会の拡充を図るとともに、楽しく学べる学級講座の充実に努めます。

(2) 学習成果発表機会の提供に努めます。

(3) 家庭教育学級の充実を図るとともに、地域の教育力の活性化に努めます。

(4) 社会教育関係団体の育成と活動の強化に努めます。

- (5) 読書活動の推進のため、団体育成と各種講座の充実に努めます。
- (6) ブックスタート事業を継続実施し更なる充実に努めます。
- (7) インターネットにより図書の貸出の利便を図るとともに、ニーズに応じた情報の収集や提供に努めます。

第5節 スポーツ・レクリエーション

「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、市民ひとり1スポーツをめざして気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。また、指導者の有効活用及び団体の育成を図るとともに情報の提供に努め生涯スポーツを推進します。

1 スポーツ環境の充実

- (1) スポーツ施設の整備に努めます。
- (2) スポーツ施設のネットワーク化の推進に努めます。

2 スポーツ・レクリエーションの振興

- (1) スポーツ教室・スポーツ大会の充実に努めます。
- (2) スポーツ団体の育成に努めます。
- (3) スポーツ指導者の有効活用に努めます。
- (4) スポーツ推進委員会を中心に軽スポーツの普及振興に努めます。
- (5) スポーツ情報の提供に努めます。

第6節 市民文化

芸術文化の振興については、文化祭をはじめとした各種芸術文化事業を実施し、市民に享受できる機会を提供するとともに、各種芸術文化団体の充実と市民文化の振興を図ります。

文化財で貴重なものは、指定文化財として保護・保存し後世に伝えるとともに、出土遺物の適切な整理・保管・活用を図り、文化財保護思想の普及を推進します。また、後世に市の歴史を継承することを目的に市史の編纂に取りかかります。

1 文化環境の整備

- (1) 市民が身近な場所で活動できるよう、美術館・郷土資料館をはじめ各施設との連携を深め、情報交換、施設の有効利用に努めます。

2 芸術文化の振興

- (1) 文化協会の組織充実と連携を図り、文化祭を開催することで市民の文化活動の意欲向上に努めます。
- (2) 親しみのある美術館・郷土資料館づくりとともに、優れた美術品を鑑賞する機会の提供に努めます。
- (3) 市民の音楽・観劇鑑賞や小中学生の音楽鑑賞教室などの芸術・文化に触れる機会の提供に努めます。

3 伝統・文化の維持継承

- (1) 文化財の保護・保存を図り、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努めます。
- (2) 文化財を美術館・郷土資料館に展示し、広く市民に公開するよう努めます。
- (3) 郷土芸能発表会などを開催し、伝統芸能保存団体の活動を支援するとともに後継者の育成に努めます。
- (4) 本市の歴史的変遷、固有の生活文化、市勢等を明らかにし、後世に市の歴史を継承することを目的に、市制施行70周年の市史発刊に向け市史編纂事業に取り組みます。

第7節 青少年健全育成

次代を担う青少年の健全な育成を目指して、広く地域住民の協力を得ながら様々な活動を展開し「心身ともに健やかでたくましい」青少年を育成するための活動を推進します。

また、青少年の非行防止や青少年に有害な社会環境の浄化を推進します。

1 青少年健全育成の充実

- (1) 青少年育成茂原市民会議及び青少年相談員活動の充実を図り、青少年の健全育成体制の整備と機能促進に努めます。
- (2) 子ども会等を通して青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努めます。
- (3) 夏休みの子どもの安全・安心な居場所づくりと異学年交流を目的に放課後子ども教室推進事業の充実に努めます。
- (4) 青少年指導センターと関係機関との連携を密にし、非行防止や環境浄化に努めます。
- (5) 携帯電話にひそむ危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図り、事故防止に努めます。

4 各施策の点検評価報告書

1-1 生涯学習の推進

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第1節 生涯学習	担当課	生涯学習課
施策区分	1 生涯学習の推進	記入者	川崎 秀則

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用することで、全庁的な推進体制の充実を図る。</p> <p>(2) 生涯学習関連施設、国・自治体や文化・スポーツ施設など、関連機関や団体等と密接な連携を図り、市民の学習ニーズに対応できるよう協力体制を整備する。</p>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進本部や生涯学習推進協議会を活用し、推進体制の強化を図る必要がある。 ・市民の多様な学習ニーズに対応するため、関連施設・団体・民間企業との連携が必要である。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な分野にわたる生涯学習関連事業を体系化し、市民に提供するために全庁的な推進体制の充実を図る。 ・国、自治体、文化・スポーツ施設など関連機関や団体等と密接な連携を図り、市民の学習ニーズに対応できるよう協力体制を整備する。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	生涯学習推進事業実績報告書の作成	生涯学習推進事業の検証
	生涯学習推進協議会の開催	年2回開催
	県や大学と連携し公開講座を実施	市民カレッジ全6回、参加者数：180人
取組への評価	<p>・生涯学習推進事業実績報告書を作成し、生涯学習推進協議会で現状と課題について協議、全庁的な推進体制の充実を図るとともに今後の事業の内容、方向性等の検討を行った。</p> <p>・県の人権問題講師派遣事業や大学の講師派遣事業を利用し、市民カレッジを実施するなど市民の多様な学習ニーズに対応するため、関連施設・団体・民間企業との連携を図った。</p>	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習社会の実現を目指し、多様な学習ニーズに対応できる推進体制の整備を図る。 ・関連機関や団体とのさらなる連携、協力体制の整備を図る。 	

1-2 学習機会の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第1節 生涯学習	担当課	生涯学習課
施策区分	2 学習機会の充実	記入者	川崎 秀則

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 市民カレッジや大学の公開講座を開催し、市民ニーズに対応した学習機会の提供に努める。</p> <p>(2) 市民の要望に応じて、市職員が講師となり、市民生活に必要な知識や情報を提供する職員出前講座の普及を図る。</p>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学習ニーズは、一段と多様化し、主体的に学習する意欲が高まっている。 職員出前講座について、学校や各種団体に周知を図り、利用の促進を図る必要がある。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> 県や大学等の関係機関と連携・協力し、生涯各期に応じた学習機会の充実を図る。 職員出前講座の周知とメニューの充実に努め、さらなる利用の促進を図る。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	市民カレッジ	全6回、185名参加、講師謝礼 45,000円
	城西国際大学公開講座	全6回、123名参加
	職員出前講座	59回実施、2,020名参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座において健康、市内の文化財、人権等さまざまな内容の学習機会を提供した。 小中学校の児童・生徒を対象にした職員出前講座「茂原学」を実施した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座の内容をより専門的にするなど、市民の多様な学習ニーズに対応する。 職員出前講座の周知とメニューの充実に努め、さらなる利用の促進を図る。 	

1-3 支援システムの整備

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第1節 生涯学習	担当課	生涯学習課 各公民館
施策区分	3 生涯学習支援システムの整備	記入者	川崎 秀則

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ガイドブック、広報もばらにより生涯学習に関する情報提供に努める。</p> <p>(2) 生涯学習を担う指導者の確保と周知に努める。</p> <p>(3) 公民館をはじめ各学習施設は、学習情報の提供や学習相談、学習事業を研究開発するなど、総合的に学習者を支援できる推進機能の充実を図る。</p> <p>(4) 学社融合の一層の推進に努める。</p> <p>(5) 子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな感性・情緒を育む読書活動を推進する。</p>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報やハロータウン等で生涯学習情報を提供しているが、学習者のニーズに応じた適切な情報提供や相談体制の整備が必要である。 ・ 「講師名簿」に230名の指導者が登録されているが、活用される機会が少なく、周知が必要である。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習ニーズに対応した情報提供、学習情報紙の充実、広報での啓発、情報提供システムおよび相談体制の整備。 ・ 指導者が、学習支援者として活動できる場の確保。 ・ 子どもの読書活動の推進。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	ハロータウンの発行	年3回（市広報1月、7月、10月）
	生涯学習ガイドブックの発行	年1回（5月、各公共施設に配布）
	自主グループ一覧表の発行	年1回（4月、各公共施設に配布）
	公民館主催教室の開催	29教室、2,392名参加
	学社融合事業	新治小学校での演劇鑑賞年1回、参加者数63人
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハロータウン、生涯学習ガイドブック、市広報により生涯学習情報の提供に努めた。 ・ 各公民館で各種教室を開催し、市民の自主的な学習活動を支援した。 ・ 学社融合事業により学校が地域住民の学習活動や地域交流の拠点となるよう努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への学習情報の提供や相談体制を整備するため、広報や情報紙などを充実させるとともに、市ホームページや相談体制の整備を進める。 	

2-1 幼児教育の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第2節 幼児期教育	担当課	教育総務課 学校教育課
施策区分	1 幼児期教育の充実	記入者	木島明良・宮内智之

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 幼稚園等の施設・遊具の改善、修繕など、適切な維持管理に努める。 (2) 基礎的な資質や能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努める。 (3) 職員の資質向上とチーム保育の推進に努める。 (4) 子育て支援事業を実施し、地域に開かれた幼稚園づくりの推進に努める。 (5) 幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努める。 (6) 環境の整備を図り、健康と安全教育の推進に努める。 (7) 教材備品の充実に努める。 (8) 私立幼稚園の保護者負担の軽減に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム保育により園児の主体的活動や個々の発達に応じた教育を展開するとともに子育て支援事業(ふれあい広場等)を実施し、地域に開かれた幼稚園づくりを推進。 ・少子化により園児数の減少が進んでおり、各施設ともに定員割れの状態であることから、公立私立施設の適正規模化の再編(統廃合)が必要となっている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な資質や能力の育成による、豊かな人間性を培う教育の推進 ・子ども子育て支援にかかるニーズ調査を基にしたサービスの向上 ・園長の裁量を盛り込んだ形で、教材備品購入費に十分な予算を確保する。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	幼稚園施設整備（雨漏、トイレ、エアコン修理等）	20箇所、予算：2278万6千円
	指導体制確立事業	主体的活動の促進、個々の発達に応じた教育を展開
	教育振興事業	1クラス2名の教員を配置
	子育て支援事業	各園でふれあい広場開催 予算32万4千円
	幼保連携事業	幼保連絡協議会にて講習・講演会等を開催
	環境整備事業	施設維持管理、教育環境の向上
	備品整備費予算計上	予算10万円（1園あたり）
	扶助費支給による就園奨励	就園人数900人（公私立合計）
	取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム保育により、園児の主体的活動や個々の発達に応じた教育を展開した。 ・未就園児及び保護者のための遊び場や母親同士の交流の場の提供のため、子育て支援事業(ふれあい広場等)を各園でそれぞれ5～6回/年実施し、延べ約1,200人が参加。 ・教材備品の予算化に関しては、全庁的に義務的経費以外一律5%カットという予算編成方針のなか、前年度と同額予算の確保した。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化により園児数の減少が将来的にも深刻であり、公立幼稚園は定員割れの上、年々減少していることから、公立私立施設の適正規模化の再編(統廃合)を急ぐ。 ・備品整備に関しては、園長からの要望を取り入れながら適正な予算化に努める。 	

3-1 教育環境の整備

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に係る「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	教育総務課
施策区分	1 教育環境の整備	記入者	中村一之

【施策の概要】

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 校舎・体育館等の耐震補強を計画的に実施するとともに、学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図る。 (2) 教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、児童生徒・利用者の安全確保に努める。 (3) 教材備品の充実に努める。 (4) 小中学校等の遊具の改善や修繕など、適切な維持管理に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の方針に基づき平成27年度末までに残り30棟の学校施設の耐震化を完了する必要有。 ・ 学校の施設・設備、遊具等が老朽化により修繕を要する箇所が増えている。 ・ 備品の充実は、学校の裁量を盛り込んだ予算編成を図っているが、十分な予算確保が困難。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度までに残り30棟の耐震化の完了 ・ 学校施設の安全性の確保 ・ 十分な予算確保をして教材備品の充実に努める

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	小中学校耐震補強工事	屋内運動場5棟、教室棟1棟の6棟完了
	小中学校耐震補強工事費予算計上	平成25年度予算計上 27億5千万円
	小中学校施設整備 (雨漏り、電気・消防・受水槽・浄化槽等)	88箇所改修(小62箇所、中26箇所) 予算：9542万8千円(災害含む)
	小破修繕等	362箇所修繕
	教材備品の充実	予算120万円/1校(中学校)60万円(小学校)
取組への 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強工事は今年度6棟が完成し、残り24棟となった。予算は、H25年度までに14棟分が確保され、平成26年度当初予算で9棟、平成27年度に1棟を計上する予定であり、予算面では耐震化完了の見通しがつきつつあるが、人件費・資材費の高騰により入札が不調となるなど、今後事業費の増大が懸念される。 ・ 施設の修繕に関しても1億円余の工事費を予算計上し、修繕箇所の解消に取り組んだ。 ・ 教材備品の予算化に関しては、全庁的に義務的経費以外一律5%カットという予算編成方針に基づき予算計上した。 	
今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震化事業は平成26年度に15棟、平成27年度に9棟完成させ、平成27年度末までに100%完了させる。 ・ 耐震化事業完了後は施設の大規模改修等を計画的に進め、良好な教育環境の整備を図る。 ・ 備品整備に関しては、学校からの要望を取り入れながら適正な予算化に努める。 	

3-2 通学環境の改善

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課
施策区分	2 通学環境の整備	記入者	木島明良

【施策の概要】

施策内容	(1) 通学路の安全点検に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校で危険箇所やこども110番シール貼付家屋等を記入した安全マップを作成し、児童生徒に注意喚起を促している。 ・学校支援ボランティア等により、登下校時の見守り隊を実施。 ・通学路の緊急合同点検箇所については、担当部署で順次対策を実施しているが、中には改善に時間や多額の予算を要する箇所があり、ハード面の対策が遅れている。
求める成果	児童生徒の通学路における安全確保

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	通学路安全対策事業	H24緊急合同点検箇所数166、H24対策箇所数122、H25対策箇所数12、対策未済32
	茂原市通学路交通安全プログラムの作成	警察・道路管理者・生活課・学校・市教委で協議・検討し策定済
	各学校での安全マップの作成	各小学校で作成 14校
	学校支援ボランティア等による登下校時の見守り	各小学校で実施 14校 延べ21,635人
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の緊急合同点検の実施により、警察、長生土木事務所、市役所など関係機関との連携体制が構築された。 ・合同点検の結果、各関係機関により、危険箇所への計画的な対策が実施されている。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今般、茂原市通学路交通安全プログラム～通学路の安全確保に関する取組の方針～を策定し、平成26年度から取り組むこととしている。 	

3-3 教育内容の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	教育総務課 学校教育課
施策区分	3 教育内容の充実	記入者	鈴木明・木島明良・宮内智之・宮本弘美・伊藤誠章・古山幹夫

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 特色ある学校経営と創意ある教育課程の編成に努める。 (2) 高度情報化、国際化など社会の変化に対応した教育の推進に努める。 (3) 地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりに努める。 (4) 道徳教育及び生徒指導の充実と教育相談体制の確立に努める。 (5) 望ましい勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育の推進に努める。 (6) 本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実と努める。 (7) 各教科及び総合的な学習の時間や特別活動において、多様な体験活動の推進に努める。 (8) 健康・安全教育の推進に努める。 (9) 防災教育の充実と努める。 (10) 奨学資金貸付制度の適正な運用に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職の研修の充実及び学校支援ボランティアの活用により、特色ある学校経営や地域に開かれた学校づくりに努めている。 ・少子化により、小中学校の小規模化が進んでいることから、今後、小中学校の適正配置計画を策定する必要がある。 ・姉妹都市であるソルズベリー市への中学生海外派遣を行っているが、参加者の経済的負担が大きく、定員を割れることがある。 ・不登校児童生徒の学校復帰 ・地域と一体となった防災訓練を実施している学校が少ない。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの活動の充実 ・各小中学校の適正配置 ・児童生徒が、外国語の音声や異文化に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を身に付ける。 ・不登校児童生徒を減らす ・自分の命を守ることのできる児童生徒の育成

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	特色ある学校づくり推進事業	校長研修会、教頭研修会合計12回実施
	学校支援ボランティア活動推進事業	ボランティア全体研修実施 平成25年度予算計上：17万9,500円
	ゆめ仕事びったり体験・職場体験学習	職場体験小学校全校、中学校6校実施
	読書活動推進事業	平成25年度予算計上：608万7,895円
	総合学習推進事業	郷土について学ぶ「茂原学」実施 平成25年度予算計上：525万2千円
	通学区域の見直し事業	西陵中学校・富士見中学校での選択制制度 説明・学校紹介 各1回
	情報教育環境の整備	パソコン整備 1台/3.6人
	中学生の海外派遣	中学生派遣 28名
	ELTの配置	ELT 7名配置
	適応指導教室	豊田教室・五郷教室 年間76日 予算118万5千円
	心の教室相談員事業	豊田小・五郷小・萩原小・東部小 年間56日 予算 92万7千円
	保健管理運営事業	薬物乱用防止教育研修会 21名
	防災教育推進事業	学校訪問において教育計画実施状況を確認
	奨学資金の貸付	新規：15名に 915万円 継続：60名に3481万2千円
取組への評価	<p>・特色ある学校経営や地域に開かれた学校づくりについては、各学校が保護者や地域の方々、学校評議員等と連携しながら創意工夫している。</p> <p>・適応指導教室では、調理実習等も取り入れ、学校に通えない児童生徒の集団適応力を培うことができた。（豊田教室7名・五郷教室6名）</p> <p>・各学校において、地震・津波・火災等に対する、あらゆる時間帯や場面を想定しての避難訓練が計画的に実施されている。</p>	
今後の方向性	<p>・少子化により、小中学校の小規模化が進んでいることから、平成27年度を目途に小中学校の適正配置計画を策定するため、各地区の代表者等をメンバーとするワーキンググループを立ち上げる予定。なお、これには西陵中学校及び富士見中学校も含めた検討を行う。</p> <p>・海外派遣について参加者の負担金や、派遣先等に関する調査研究を行う。</p> <p>・適正な奨学資金の運営に努める。</p>	

3-4 障害児教育の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課
施策区分	4 特別支援教育の充実	記入者	宮本弘美

【施策の概要】

施策内容	(1) 特別支援教育の推進と適切な就学指導の充実に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の配置や巡回相談・専門家チームの設置により、幼稚園、保育所、小中学校の支援を行った。 ・年間7回就学指導委員会を開催し、適切な就学指導に努めた。 ・「就学支援 コスモシート」の配布や、相談支援ファイル「スマイル」の周知を図り、支援体制の整備に努めた。 ・課題は通常学級の中での特別な支援を要する児相生徒の対応
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の計画的配置 ・児童生徒の実情に応じた適切な就学指導

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	特別支援教育支援員の配置	小学校12名中学校4名幼稚園1名配置
	巡回相談の実施	4保育所・3幼稚園・7小学校へ年間3回訪問
	専門家チームの設置	年間3回開催
	就学指導委員会の開催	年間7回開催
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の配置により、支援を必要とする幼児児童生徒に対し、学校生活での介助や学習活動上の支援を行うことができた。 ・巡回相談や専門家チームにより対象児童生徒の実態把握・対処方法等について検討することができた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も特別支援教育支援員を計画的に配置していく。 ・巡回相談・専門化チームを継続し、特別支援教育の充実に努め、児童生徒の能力に応じた適切な就学指導につなげる。 	

3-5 教職員の資質の向上

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課
施策区分	5 教職員の資質の向上	記入者	鈴木明

【施策の概要】

施策内容	(1) 教職員の資質向上を図り学習指導の充実に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験豊かな教職員の大量退職をむかえ、年齢構成が大きく変化していく。この状況から中堅層及び若年層の資質向上が課題となる。 ・ 教職員の資質向上のための効果的な研修体系の在り方が課題となる。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験豊かな教職員の大量退職、年齢構成の変化から課題となる、中堅層及び若年層の研修を充実させ、資質向上を図る。 ・ 茂原市教育研究協議会及び各学校の校内研修の充実に努め、学習指導の充実に努める。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	教育振興事業	平成25年度予算計上：157万4,500円
	教育研究協議会の開催	参加人数 小283人 中178人 幼24人
	若年層教員研修会の開催	参加人数 39人
	教育講演会の実施	参加人数 389人
	教務主任研修の開催	参加人数 延べ63人
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茂原市教育研究協議会の17の分科会ごとの研修を3回、全体での講演会を1回行ったが、各部研修では、講師を招聘して研修を企画するなど、充実した研修が行われた。 ・ 今年度、「茂原市若年層教員育成研修会」を実施し、若手教員の育成についても研修を充実させることができた。 ・ 全国学力・学習状況調査の結果をもとにして、学習指導の改善についての取り組みをまとめて、各学校に通知することができた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茂原市教育研究協議会の研修及び、各学校の校内研修については、引き続き援助をしていく。 ・ 「茂原市若年層教員育成研修会」については、さらに回数を増やし内容を充実させていく。 ・ 各学校での児童生徒の学力分析とそれに基づく指導の重点化及び指導方法の改善を推奨していく。 	

3-6 学校給食の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課 中央学校給食共同調理場
施策区分	6 学校給食の充実	記入者	伊藤誠章・笠原良夫

【施策の概要】

施策内容	(1) 学校給食の充実及び食育の推進に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式、自校方式、親子方式の3方式による給食運営が確立されており、安全で安心な給食を提供している。各施設とも老朽化が著しく、修繕により対応している。 ・各小中学校において工夫された食育に関する授業が展開されている。 ・食物アレルギーを有する児童生徒及び保護者には、分析表を含む詳細な献立表を配布し、アレルギー事故発生の予防に努めている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食施設の老朽化の対応として施設点検、改修及び調理機器の更新 ・長生地域米粉パンの継続を求め「地産地消」の推進を図る ・給食食材放射線測定について、共同調理場・五郷幼稚園に協力を仰ぎながら継続する

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	食器等備品	243万1千円 食器箆 二重食缶 冷蔵庫 等
	給食委託（調理、運搬）	2億2027万1千円 調理：東洋食品 運搬：南総通運
	蒸気回転釜購入	222万6千円 1基
	調理機器賃貸借	686万7千円 中学校用焼物機、中学校用揚物機 他4件
	調理場設備備品修繕	494万2千円 食缶洗浄機修繕 ポイラ配管修繕 他35件
	長生地域米粉パン給食推進事業	共同調理場・単独調理校 各2～3回実施
	各小中学校・幼稚園給食食材放射線測定	月1回 小中学校及び幼稚園の食材で実施
取組への評価	調理部門については、全ての調理場を民間委託したことにより、人員配置の面では、より安定的に学校給食を実施することが可能となった。 食物アレルギーについては、児童生徒、担任、保護者とが共通理解し、安全に留意しながら給食をとることができている。	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・共同調理場及び単独調理校（園）とも老朽化が進んでいることから、財政状況を勘案し、新しい調理場の建設について検討を行う。 ・長生地域米粉パン及び給食食材の放射能検査は継続していく。 ・アレルギー用献立は、紙ベースではコスト高なため、インターネットで閲覧できるようにする。 	

4-1 社会教育施設の整備

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第4節 社会教育	担当課	生涯学習課
施策区分	1 社会教育施設の整備	記入者	最首 誠

【施策の概要】

施策内容	(1) 社会教育施設の整備を図り、設備等の充実に努める。
現状と課題	図書館は昭和48年に開館以来すでに40年が経過し、大雨等による浸水被害を受け、施設の老朽化が顕著である。また、狭隘な一般貸出図書室は、書架間隔が狭く暗いため、利便性が悪く圧迫感もある。公民館、体育館も老朽化が進んでおり、公民館は学習環境の整備や時代に即した機器の充実を図っていく必要がある。体育館はより利便性を向上させるため、大規模改修を必要としている。
求める成果	図書館を茂原駅南口再開発ビルサンヴェル6階に移転開設し、快適な読書環境の整備を図る。社会教育施設においては、適宜修繕を実施し、利用者に快適な活動の場所を提供する。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	茂原公民館、駅前学習プラザの廃止	平成25年12月議会で条例改正
	指定管理者制度の導入	平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間、指定管理者制度を実施
	中央公民館トイレ修繕	施設の利便性、安全性を図る 289千円
	市民会館雨漏り修繕	施設の利便性、安全性を図る 683千円
取組への評価	図書館の老朽化等への対応として図書館の移転事業に着手、指定管理者制度を導入することでさらなるサービスの向上に努めた。社会教育施設は安全な施設の維持管理に努め、利用者の安全性及び快適性の向上に努めた。	
今後の方向性	図書館は平成26年4月から改修工事をおこない、平成26年7月中旬予定で開館準備をおこなう。現在の図書館は教育委員会の倉庫として利用する。社会教育施設は施設設備の更新、修繕をおこない、利用者に不便をかけないようにする。また、体育館の大規模改修について検討する。	

4-2 社会教育の振興

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第4節 社会教育	担当課	生涯学習課
施策区分	2 社会教育の振興	記入者	最首 誠

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 多様化・高度化する学習ニーズに応じるため、学習機会の拡充を図るとともに、楽しく学べる学級講座の充実に努める。</p> <p>(2) 学習成果発表機会の提供に努める。</p> <p>(3) 家庭教育学級の充実に図るとともに、地域の教育力の活性化に努める。</p> <p>(4) 社会教育関係団体の育成と活動の強化に努める。</p> <p>(5) 読書活動の推進のため、団体育成と各種講座の充実に努める。</p> <p>(6) ブックスタート事業を継続実施し更なる充実に努める。</p> <p>(7) インターネットにより図書の貸出の利便を図るとともに、ニーズに応じた情報の収集や提供に努める。</p>
現状と課題	市民の学習ニーズが多様化・高度化しており、今後の課題として、質の高い学習内容や様々な学習機会を提供する必要がある。
求める成果	より一層の学習成果を上げられるようにし、社会教育の振興を図る。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	子育て講座	参加者：692人
	家庭教育学級	参加者：1,750人
	社会教育団体への助成	4団体 626,000円
	おはなし会ボランティア養成講座	参加者：52人
	おはなし会／赤ちゃんと一緒にのおはなし会	参加者：158人／126組
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 子育て講座・家庭教育学級は多くの参加があり、事業を通して社会教育の振興が図られた。 養成講座を受講したボランティアは、各小学校で読み聞かせを実施し活躍した。 おはなし会を実施することにより本への関心が高まり、図書館の利用者が増加した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は指定管理者に引き継がれるため、図書館サービスの質の低下を招かぬよう努める。 多様な学習機会ニーズに応えるため、様々な情報提供に努めながら学習機会の拡充を図る。 社会教育関係団体指導者の育成を図り、社会教育団体の活動支援に努める。 	

5-1 スポーツ環境の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第5節 スポーツ・レクリエーション	担当課	体育課
施策区分	1 スポーツ環境の充実	記入者	田中和志

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツ施設の整備に努める。 (2) スポーツ施設のネットワーク化の推進に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館も築30年が経過し、老朽化により修繕を要する箇所が増えている。 ・トレーニング機器や各スポーツ用具の整備、環境美化が求められている。 ・市民体育館受付管理システムにより、市民体育館、市営野球場、市営庭球場の貸出しを一元管理している。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の安全性の確保およびスポーツ環境の充実。 ・市民体育館内外の環境美化の継続。 ・スポーツ施設の空き状況確認などのネットワーク化推進による、利用者の利便性の向上。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	市民体育館施設整備（サブアリーナ床塗装、会議室他雨漏り補修等）	9月補正348万1千円。
	電気設備、スポーツ器具等修繕	予算130万2千円。
	市民体育館環境美化業務委託	103万1千円。
	市民体育館受付管理システムによる貸出一元管理	市スポーツ施設の貸出・予約確認等を市民体育館窓口で一元管理。
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・必要箇所の補修を行い、環境整備に努めた。しかし今後も補修を要する箇所は発生してくることが予想される。 ・昨年度に引き続き市民体育館環境美化業務委託を行い、館内外の環境美化に努めた。 ・市民体育館、市営野球場、市営庭球場の貸出しを一元管理し、利用者の利便性を確保した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化により、補修を要する箇所は毎年発生するため、その都度対応してゆく。しかし、小規模改修では限界があるため、今後大規模改修も視野に入れ検討を行う。 ・健康志向の高まりや、高齢者、障害者のニーズに応えるため、リース契約によるトレーニング機器の一新を検討する。 	

5-2 スポーツ・レクリエーションの振興

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第5節 スポーツ・レクリエーション	担当課	体育課
施策区分	2 スポーツ・レクリエーションの振興	記入者	田中和志

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツ教室・スポーツ大会の充実に努める。 (2) スポーツ団体の育成に努める。 (3) スポーツ指導者の有効活用に努める。 (4) スポーツ推進委員会を中心に軽スポーツの普及振興に努める。 (5) スポーツ情報の提供に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに応じた各種スポーツ教室を開催している。 ・体育協会、スポーツ少年団の活動支援を行っているが、更なる活動の活性化には助成金の増額が必要。 ・市民体育祭の開催や県民体育大会への選手派遣を通して競技力の向上および選手層の拡大を図っている。 ・スポーツ推進委員会を中心に、軽スポーツ等の普及振興を図っているが、推進委員が不足しており、募集も図るも中々増員につながらない。 ・広報もばら、スポーツもばら、ホームページ等を活用し、スポーツ情報の提供とその充実に努めている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のスポーツに親しむ機会を数多く提供し、健康増進を図りながら、市民スポーツの振興（市民ひとり1スポーツ）を目指す。 ・茂原市体育協会および茂原市スポーツ少年団の組織強化並びに指導者の育成を図り、更なる競技スポーツおよび地域スポーツの振興を図る。 ・広報もばら・スポーツもばらの定期的な記事の掲載・発行、ホームページの更新等により、最新の情報提供に努める。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	各種スポーツ教室開催	少年少女柔道教室、ヨガ教室等5種のスポーツ教室を開催。
	第62回市民体育祭開催	8月25日～11月17日の約3ヶ月間、24競技で実施。延べ3852人が参加。
	第10回ファミリースポーツまつり、第23回スポレク祭、第2回千葉県ミニバレーボール大会開催	スポーツ推進委員会主催で開催。合計434人が参加。
	体育協会、スポーツ少年団活動支援	体協1、423千円、スポ少50千円助成。
	スポーツ情報提供	広報もばら・ホームページには随時イベントの案内等を掲載。スポーツもばらは年3回発行。
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会加盟団体やスポーツ推進委員会とも連携を取り、大会や教室を開催。多くの市民が参加し、競技力の向上およびスポーツの振興、健康増進が図れた。 ・スポーツ関連の情報を提供することで、市民のスポーツに接する機会を増やし、また大会結果等を掲載することにより、選手の意欲向上を図ることができた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターなどとも連携を図り、健康づくりと結びつけたスポーツ教室等のイベントの開催を検討する。 ・スポーツ推進委員会を充足し、更なる市民スポーツの振興を図る。 	

6-1 文化環境の整備

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第6節 市民文化	担当課	生涯学習課、中央公民館 美術館・郷土資料館
施策区分	1 文化環境の整備	記入者	東間・舩田

【施策の概要】

施策内容	(1) 市民が身近な場所で活動できるよう、美術館・郷土資料館をはじめ各施設との連携を深め、情報交換、施設の有効利用に努める。
現状と課題	平成22年度からは、月曜開館を行うなど、広く市民に来館頂けるよう、施設の適切な維持管理に努めている。竣工以来19年が経過し、設備の故障が相次いでいる。また、収蔵庫が飽和状態となり、収集が困難である。 生涯学習情報を提供しているが、学習者のニーズに応じた適切な情報提供や相談体制の整備が必要である。
求める成果	市民の文化活動の場の提供、設備の維持管理、修繕。 学習ニーズに対応した情報提供、学習情報紙の充実、広報での啓発、情報提供システムおよび相談体制の整備。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	空冷ヒートポンプチラー交換工事	予算：3624万5千円
	展示室空調機用加湿器交換工事	予算：65万2千円
	設備修繕	空調、エレベーター、消防設備修繕
	生涯学習ガイドブックの発行	年1回（5月、各公共施設に配布）
	自主グループ一覧表の発行	年1回（4月、各公共施設に配布）
取組への評価	空調設備等の交換工事、修繕により施設の適切な維持管理に努めた。 収蔵庫内の整理により、新収蔵品の受け入れを行った。 生涯学習ガイドブック、自主グループ一覧表により生涯学習情報の提供に努めた。	
今後の方向性	今後も施設、設備の適切な維持管理に努める。 収蔵品が増えた為、収蔵スペースの確保に工夫する必要がある。また、新収蔵品の燻蒸を行う等、貴重な資料の保管保全に努める。 市民への学習情報の提供体制を整備するため、情報紙を充実させる。	

6-2 芸術文化の振興

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第6節 市民文化	担当課	生涯学習課 美術館・郷土資料館
施策区分	2 芸術文化の振興	記入者	東間・舛田

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 文化協会の組織充実と連携を図り、文化祭を開催することで市民の文化活動の意欲向上に努める。</p> <p>(2) 親しみのある美術館・郷土資料館づくりとともに、優れた美術品を鑑賞する機会の提供に努める。</p> <p>(3) 市民の音楽・観劇鑑賞や小中学生の音楽鑑賞教室などの芸術・文化に触れる機会の提供に努める。</p>
現状と課題	<p>(1)文化協会加盟団体は増加しており、引き続き組織充実と文化祭の充実が必要である。</p> <p>(2)林功の日本画のまとまった寄贈を受ける等、優れた美術品の展示が可能となった。共催展示・文化祭等で美術展示室を使用するため、美術収蔵品展との同時開催ができない時期がある。</p> <p>(3)市民を対象とした歌舞伎等鑑賞会、小中学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催している。今後も市民ニーズに対応した企画や活動補助の充実が求められている。</p>
求める成果	<p>(1)文化協会の組織及び文化祭の充実。</p> <p>(2)各展覧会の開催により、来館者に芸術文化に親しんで頂く機会を提供する。</p> <p>(3)市民が芸術文化に触れる機会を充実させることで、市民の文化活動の意欲を向上させる。</p>

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	茂原市文化祭（台風により中止）	一部自主開催及び延期により開催
	小中学生音楽鑑賞教室	7校（4小学校、3中学校）で開催
	芸術文化鑑賞教室	ミュージカル3回、歌舞伎4回、文楽1回
	美術収蔵品展の開催	日本画家 林功展等計7展覧会開催
	共催展示の開催	計17団体の展示開催
取組への評価	<p>(1)本年度は台風の影響により文化祭が中止となったが、各会場、各団体の状況により15の事業については自主開催し、また、小中学生、幼稚園、保育所児童の作品については、日程を変更し開催することで、発表の機会を確保した。</p> <p>(2)美術品は、林功の日本画15点の寄贈により計25点となり、林功のコレクションとしては国内有数となった。展覧会PRはNHKの美術番組で紹介される等注目を集めている。共催展示の各日程を工夫し、広く市民の文化活動の発表の場として、より親しみやすい美術館・郷土資料館となるよう努めた。</p> <p>(3)小中学生音楽教室は、各校独自に企画し、楽器の生演奏を聴く機会を提供した。芸術文化鑑賞教室は、全日程において満員となった。また、鑑賞前に専門家による講座を開催し、伝統芸能に対する理解を深めた。</p>	
今後の方向性	<p>(1)文化祭については、文化協会と連携を深め、事業の充実を図る。</p> <p>(2)今後も展示内容を工夫した魅力ある展覧会の開催により、優れた美術品を鑑賞できる機会の提供に努める。</p> <p>(3)小中学校音楽教室は、開催校の意見を聞きながら事業の充実を図るとともに、市内演奏家の活用の増進を図りたい。芸術文化鑑賞教室については、市民ニーズに対応した企画立案や鑑賞前の専門家による講座の充実を図りたい。</p>	

6-3 伝統・文化の維持継承

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第6節 市民文化	担当課	生涯学習課 美術館・郷土資料館
施策区分	3 伝統・文化の維持継承	記入者	東間・舩田

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 文化財の保護・保存を図り、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努める。</p> <p>(2) 文化財を美術館・郷土資料館に展示し、広く市民に公開するよう努める。</p> <p>(3) 郷土芸能発表会などを開催し、伝統芸能保存団体の活動を支援するとともに後継者の育成に努める。</p> <p>(4) 市制施行70周年の市史発刊に向け市史編纂事業を推進する。</p>
現状と課題	<p>(1) 国の天然記念物であるミヤコタナゴ、ヒメハルゼミ発生地環境整備活動を地元住民や小学生と協力し、実施した。引き続き、生息地の環境整備や保護保存意識の高揚が求められる。</p> <p>(2) 年間の常設展示の中で、国府関遺跡の木製品、下太田貝塚の出土品などの文化財を展示している他、テーマ展を開催。収蔵する文化財資料は17,000点と膨大であり、全てを展示するのは困難。</p> <p>(3) 七夕祭り開催中に、郷土芸能発表会を開催し、お囃子や獅子舞などの郷土芸能の保存活動を支援したが、演者の高齢化により活動継続が困難な団体がある。</p> <p>(4) 市史編纂への基礎調査として古文書の調査、整理を開始した。</p>
求める成果	<p>(1) 地元住民等と協力し、生息環境の更なる向上を目指す。</p> <p>(2) より身近な視点で文化財に触れて頂き、その保護思想の普及に努める。</p> <p>(3) 郷土芸能保存団体との連携を密にし、郷土芸能の保存を図る。</p> <p>(4) 既存の古文書の調査、整理の他、新たな資料の収集。</p>

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	ミヤコタナゴ生息地環境整備	地元住民と河川清掃等を実施
	ヒメハルゼミ発生地環境整備	地元住民と竹刈等を実施、小学生と調査を実施
	郷土芸能発表会	七夕祭りにて4団体が発表
	常設及びテーマ展の開催	(常設)文化財展示、(テーマ)年3回開催
	市史編纂事業として古文書の調査、整理	予算：50万円
取組への評価	<p>(1) 地元住民や地元小学生と協力し、清掃活動や生息状況調査を行うことにより、天然記念物の保護に対する意識の高揚を図った。</p> <p>(2) 郷土資料館テーマ展を年3回開催し、できるだけ多くの文化財の展示公開に努めた。</p> <p>(3) 郷土芸能発表会を開催し、伝統芸能の保護保存を図った。</p> <p>(4) 古文書目録を作成し、また、貴重な史料については翻刻作業を行った。</p>	
今後の方向性	<p>(1) 天然記念物の保護に関しては、環境整備により保護が図られていることから地元住民等との協力体制の更なる充実を図る。</p> <p>(2) 今後も、広く文化財の展示公開に努める。</p> <p>(3) 郷土芸能保存団体と協力し、郷土芸能発表会の参加団体の増加を図る。</p> <p>(4) 古文書については、所在の確認調査を行い、保存に努める。</p>	

7-1 青少年健全育成の充実

平成25年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第7節 青少年健全育成	担当課	生涯学習課 青少年指導センター
施策区分	1 青少年健全育成の充実	記入者	最首 誠

【施策の概要】

施策内容	<p>(1) 青少年育成茂原市民会議及び青少年相談員活動の充実を図り、青少年の健全育成体制の整備と機能促進に努める。</p> <p>(2) 子ども会等を通して青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努める。</p> <p>(3) 夏休みの子どもの安全・安心な居場所づくりと異学年交流を目的に放課後子ども教室推進事業の充実を図る。</p> <p>(4) 青少年指導センターと関係機関との連携を密にし、非行防止や環境浄化に努める。</p> <p>(5) 携帯電話にひそむ危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図り、事故防止に努める。</p>
現状と課題	<p>青少年育成茂原市民会議、青少年相談員や青少年指導センターを中心に青少年の健全育成を図っている。今後の課題として、少子化、核家族化、情報の氾濫等、青少年を取り巻く環境の変化に対応する必要がある。</p>
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりやルールを守り、仲間同士の友情を深めることを通して、人間性豊かな人格形成を援助する。 ・社会教育活動や地域の人々の協力を得て、青少年健全育成を促進する。 ・青少年のたまり場や交友関係などの情報収集に努め、非行防止に役立てる。

【平成25年度取組に対する評価】

	内容	活動指標
平成25年度 主な取組	第8回ふぁみりーグラウンドゴルフ大会	参加者：129人
	第38回茂原市つつじマラソン大会	参加者：930人
	第24回少年の主張大会	参加者：341人
	第19回僕と私のジャンピング大会	参加者：579人
	成人式	参加者：754人
取組への評価	<p>・各種事業を通して多くの参加者や運営に関わる役員等の参加により、青少年育成に関して理解が図られたものと考えている。</p> <p>・来年度以降はさらに内容を充実し、青少年の健全育成の充実を図る。</p>	
今後の方向性	<p>・各種事業内容の取り組みを検証し、改善を進めることでより多くの参加者を確保し、事業を通して青少年育成体制の充実、青少年育成事業の充実、さらには環境浄化と非行防止を図る</p>	

教育委員会の点検評価報告書（平成 25 年度事業対象）

発行日 平成 26 年 4 月

発 行 茂原市教育委員会

編 集 教育部教育総務課
〒297-8511 茂原市道表 1 番地

電 話：0475-20-1557

メー ル：k-syomu@city.mobara.chiba.jp